

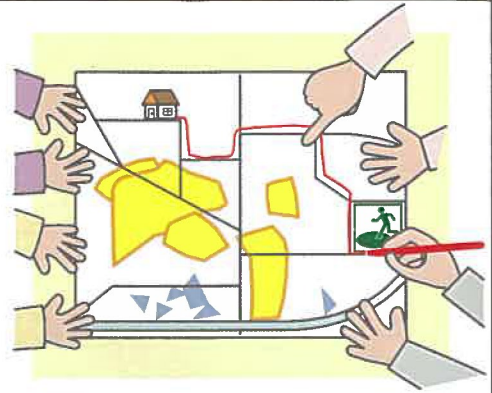
目 的

土砂災害は、地震や大雨によって発生し、全国各地で被害が報告されています。平成25年(2013年)10月には伊豆大島、平成26年(2014年)8月には広島市で大規模な土砂災害が発生しました。

土砂災害ハザードマップは、土砂災害の危険性があるがけや溪流の位置を確認し、避難方法を検討していただき、一人一人が適切に避難していただくために作成したものです。

マップの使い方

- ① 自宅を確認
- ② 避難場所を確認
- ③ がけや溪流、雨水による浸水が予想される区域を避けて避難経路を引く
- ④ 避難時に携行し、実際の状況に合わせた避難経路・避難場所を考えるなど、最善策を考える際に活用する



雨水による浸水のメカニズム

本マップには、平塚市内水ハザードマップに基づいて、市全域に1時間50ミリ程度の大雨が降った際に浸水が予想される区域も掲載しています。

大雨による土砂災害の避難の際には、こうした内水による浸水区域も想定して、避難経路を検討してください。

なお、雨の降り方や河川水位・土地利用の変化などにより、実際と異なる場合があります。

内水とは



降った雨は、排水路や側溝等を通して川に排水されます。



大雨が降ると川の水位が上がり、川に排水されずに排水路や側溝等から水があふれてしまいます。

●内水に関してのお問い合わせ

平塚市土木部

下水道整備課 TEL. 0463-21-8787

